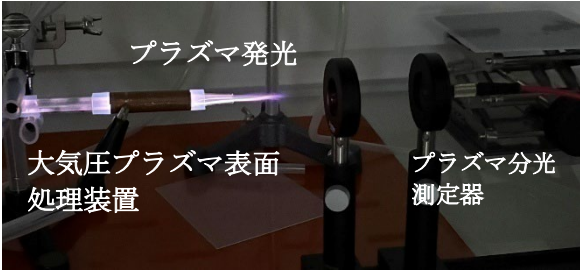
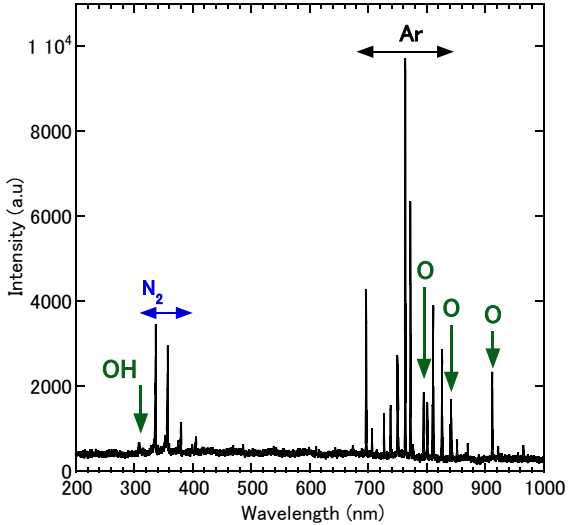



プラズマの分光測定

事例	アルゴン大気圧プラズマの発光を分光測定しました。
試験内容 と結果	<p>プラズマ分光測定器は光ファイバー型分光器によりプラズマの状態を乱さずリアルタイムで発光分光測定できる装置であり、プラズマの安定性や表面処理条件の評価に活用することができます。</p> <p>材料表面に対して接着性や印刷性の向上、機能膜の形成に活用する目的で試作した大気圧プラズマ表面処理装置(左図)の処理条件を検討するために、プラズマ分光測定器によりアルゴン(Ar)プラズマの発光スペクトルを測定した結果(右図)、親水性等の表面改質に重要な役割を果たす活性酸素種(OHやO)からの発光ピークを観測できました。</p>  
使用装置	<p>プラズマ分光測定器 (令和7年度導入)</p>  <p>メーカー名: Avantes社 型式: AvaSpec-VARIUS 4K</p> <p>【機器の概要】 光ファイバーを用いてプラズマが発した紫外、可視及び近赤外領域の光を分光する装置です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定可能波長範囲: 200~1100nm 入射スリット交換型(入射スリット幅: 10 μm、25 μm、50 μm、100 μm、200 μm)
使用料	使用料: プラズマ分光測定器 1,200 円/時間